

コロナに
負けない!

～ 町民みんなで感染拡大防止の徹底を ～ 9/30 緊急事態宣言 解除か? 延長か?

■北海道は、9月22日の「新型コロナウイルス感染症対策本部会議」で札幌市を含む道内各地で新型コロナウイルスの感染状況が減少傾向にあることから、10月からの感染再拡大防止と社会経済活動の両立を目指して、調整を進めています。

晩秋の行楽シーズンを迎えるその前に、「新北海道スタイル」を徹底し、感染拡大防止に努めましょう。

北海道の状況

【累計感染者数】60,122名

【死者数】1,466名

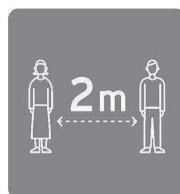
－ 9月26日現在（道公表）－

コロナに
負けない!

「新北海道スタイル」で

感染予防の徹底を!

道民の皆さまへ



いまは、
きよりとって



手を洗おう



咳エチケット



換気をしよう



北海道コロナ通知システムと
接触確認アプリ(COCOA)を
活用しよう



3つの「密」を
さけよう



テイクアウトや
デリバリーも



オンラインを
上手に使う



いまは、小声で



正しく理解し
思いやりある行動を

はじめよう、つづけよう。「新北海道スタイル」

自分の命を守る・家族の命を守る・社会の命を守る

【問合わせ先】

役場住民福祉課 TEL 44-2113

- ① 配布場所…総合文化センター1Fロビー
- ② 配布時間…午前9時から午後5時まで
(月・土・日・祝日除く)
- ③ 配布数量…1回2リットルまで
(事業所の方は増量可。洗浄済のペットボトル等を持参し、除菌剤の表示シールの貼付を!)
- ④ 消毒方法…テーブル、ドアノブ及び手すり等にスプレーで吹きかけ、10秒後に清潔なタオルで拭き取ってください。

”コロナ““安心な観光の町に!”
「次亜塩素酸水」で消毒徹底を!

「旅館・飲食店等」事業所でぜひ活用を!

積丹町のコロナワクチン接種状況 (9月30日現在見込み)

全町民接種対象者 1,803 人	
1回目接種済	84 人 (4.7%)
2回目接種済	1,472 人 (81.6%)
合 計	1,556 人 (86.3%)
内 65 歳以上対象者数 910 人	
1回目接種済	15 人 (1.6%)
2回目接種済	821 人 (90.2%)
合 計	836 人 (91.9%)

(注) このページの紙面は、9月24日現在の道の情報を基に編集しています。
なお、その後の情報に注意してください。

「まちづくり活動支援事業」の事例紹介

婦美町自治会 餅つき交流備品整備事業

：婦美町自治会

今回は、令和2年度に婦美町自治会が「積丹町まちづくり活動支援補助金」を活用して実施した「婦美町自治会 餅つき交流備品整備事業」を紹介します。

婦美町での餅つきは、20数年前から、毎年12月下旬に地域内の有志により行われ、地域の人だけでなく、地域外の子供なども参加して賑やかに行われてきました。

婦美町自治会では、平成28年からこの餅つきを自治会主催行事として実施することとし、自治会全世帯にのし餅を届けるようになりましたが、これまで使用していた臼と杵が古くなり、餅に木くずが混じるようになったため、令和2年に町まちづくり活動支援補助金により「臼と杵」を購入しました。

昨年は、コロナ禍の中で餅



▲購入した臼と杵で餅つき

つきの実施をどうするか悩みましたが、自治会員のみで実施することとし、12月26日に行われました。

餅つきは、前日の洗米、当日の米蒸しと餅つき、3日目の餅切りに配布と、時間と労



▲食べやすい大きさにカット

力を必要としますが、高齢者世帯からは、「楽しみにしていたよ。」との言葉が寄せられ、酒巻徹会長は、「若い世代が一生懸命やってくれることにより、地域内の親睦と融和に役立っています。」と話しています。



▲餅を世帯へ配布

持続可能なまちづくりを目指して

「健康長寿社会」" 幸せの形" を見つけよう！

No. 1

高齢者の地域社会貢献活動

～ ゆうり俳句会 ～

誰もが健康で長生きすることを望み、それが可能になれば、社会は必然的に高齢化します。しかし高齢化は対策すべき課題ではありません。

現代社会は「人生100年時代」になり、与えられた時間をいかに楽しく、健康に過ごすか、「幸せの形」を見つめることが大切です。

そんな中、町内でも様々な活動が行われています。今回は毎月1回行われている「ゆうり俳句会」の社会貢献活動をご紹介します。

ゆうり俳句会では、毎月ゆうりの入居者やエイジングステーションやすらぎの通所者の皆さんと、俳句教室を



ここで一句！

手塩に掛け育てし西瓜まず飾る
風鈴の青き音となる海の風
海の日や夫逝きてはや十二年
大陸の黄砂にかすむ水平線

長谷川正治
嶋田 弘子
白鳥 紀代
相川美津子

第71回 社会を明るくする運動

積丹町標語入選作品

◆標語の部◆

〈小学生の部〉

金賞 親切は やさしいえがおの だい一歩

銀賞 明るくて 元気な友が ゆう気の根

銅賞 ありがとう 笑顔になれる 魔法だね

〈中学生の部〉

金賞 自分から 広げてみよう 笑顔の輪

銀賞 やってみて!! キミなら絶対 できるから

銅賞 大丈夫 明日はきっと 明るい日

佳作 やってみよう 周り気にせず 全力で!

佳作 共に見る 明日の空に 誓う約束

美国小2年 いしおか 石岡 こうた 幸汰 くん

美国小3年 まつば 松葉 いつき 樹 さん

日司小6年 みかみ 三上 たまき 球椿 さん

美国中3年 まとば 的場わかな さん

美国中3年 いいだ 飯田 はるか 春香 さん

美国中2年 さとう 佐藤 ここな 果夏 さん

美国中3年 かとう 加藤 はるな 春奈 さん

美国中3年 のみや 野宮 るか 増香 さん

8月27日、第71回「社会を明るくする運動」積丹町選考委員会が開かれ、町内小中学生から応募のあった82点の標語の中から8点の入選作を決定しました。
入選した生徒へ各小中学校長より賞状が贈られました。

北後志消防組合積丹支署

消防ニュース

美国小学校



”9月1日・防災の日“
美国・日司小で「避難訓練」
美国小学校では地震の想定でグラウンドに集合。津波の恐れがあり、ヘルメットとライフジャケットを装着し、音楽室へ移動する長距離の避難でした。
日司小学校では、火災想定でグラウンドへ避難しました。

日司小学校



した。
両校とも『おは・し・も』の「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」をしっかりと守り、避難ができていました。
災害はいつ発生するかわかりません。日々の備えが大切です。小さなことから準備しましょう!

まちの日記帳



トマトジュースを子どもたちへ

ＪＡ新おたる仁木町トマト生産組合が寄贈

9/3

ＪＡ新おたるの仁木町トマト生産組合（兼重 隆幸組合長理事・69戸）から、「子どもたちに新鮮でおいしいトマトジュースを飲んでもらいたい。」と、十河教育長へ福島亜明同組合理事（美国町）からミニトマトジュース「もてもてネ」が贈られました。

後日、各小中学校で児童と教職員に配られ、郷土の名産品の寄贈に各学校では大喜びでした。



積丹町と郵政事業の発展のため！

北海道郵便局長協会が50万円寄付

9/8

一般社団法人北海道郵便局長協会（佐々木 靖理事長）から「郵便局が所在する地域の活力ある社会づくりに役立てていただきたい。」と当町へ50万円の寄付がありました。

9月8日に、北海道郵便局長協会北後志地区連絡会統括局長（渡辺 朝里郵便局長）と4名の町内郵便局長が来庁され、松井町長へ目録が贈られました。

寄付金は当町のまちづくりに大切に活用させていただきます。



練習の成果を発揮！

第20回郵便局長杯ゲートボール大会

9/18

ふれあいゲートボール場で、第20回積丹町郵便局長杯ゲートボール大会が行われ、4チーム計18名が普段の練習の成果を発揮し、秋晴れ下での白熱した戦いでした。

大会結果は次のとおりです。

優勝 Dチーム（代表 熊本 和子）

準優勝 Cチーム（代表 戸来 幸彦）

第3位 Bチーム（代表 岡崎 一美）

